

交通系 I Cカードの活用とバスの乗り方教室について (重点事業 5-1-①②)

【目的】

令和4年5月14日から市内の全バス路線で利用を開始した Suica 等の交通系 I Cカード(以下、「I Cカード」という)を普及することにより、キャッシュレス化を推進し、乗降時間の短縮による定時性の確保や現金が不要となるバス利用者の利便性向上を図るほか、I Cカードで得た利用実績データを、今後の路線等の見直し検討の材料として活用する。

また、今後将来的にバスを使用する小学生・中学生や移動に困っている高齢者を対象に、バスの乗り方教室を開催することで、公共マナーを伝えるとともに公共交通に対する市民意識の向上を図るほか、乗り方教室実施の際に I Cカードの普及促進を図る。

【取り組み内容】

- 1 I Cカードの利用を促進するチラシを作成し、全戸配布。



作成枚数：32,000枚

2 バス車内及びバス停でのチラシの掲示。



3 N C Vの番組で交通系 I Cカードの利用開始に関する特集を放送。

(特集内容)

I Cカードサービス開始式典の様子。

I Cカードを使用しての乗降方法について実演。

チャージ方法についての説明。

yamako cherica の記名式と無記名式の違いについての説明。

4 各コミセンや各小中学校でバスの乗り方教室を開催する。

実際にバスが各コミセンや各小中学校まで行き、乗り方教室を開催し、I Cカード及び現金での支払い方法や乗降方法を伝える。バスの乗り方を学んだ後は、実際に乗車してもらい、バスの利便性を体験してもらう。

また、山交バス㈱が発行する I Cカード『yamako cherica』は、乗り方教室の開催時に参加者への案内も行う。

5 交通系 I Cカードを市役所で販売する。

yamako cherica を 100 枚購入し、市役所で販売し交通系 I Cカードの普及促進につなげる。